

INFORMATION

No.2024.36
2024年12月

検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして受託中止をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

■最終受託日 2025年1月30日(木) ご依頼分まで

■ 受託中止項目

検査項目一覧 掲載頁	項目コード	検査項目	備考
184	専依	乳癌HER2/neuタンパク (染色法)	受託数減少、項目集約のため

■ 代替項目

検査項目一覧 掲載頁	項目コード	代替項目
未掲載	専依	乳癌HER2タンパク (IHC) 4B5

※ 検査要項は裏面をご参照ください。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

▼代替項目について

項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
専依	乳癌HER2タンパク (IHC)4B5 5D590-0000-075-666	未染標本 スライド	未染標本 スライド 4枚	86	室温	10～13	①②③ 690 病理	免疫組織化学染色法 ※1

保険点数の算定条件

- ①「免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、病理組織標本を作製するにあたり免疫染色を行った場合に、方法(蛍光抗体法又は酵素抗体法)又は試薬の種類にかかわらず、1臓器につき1回のみ算定する。
- ②「HER2タンパク」は、半定量法又はEIA法(酵素免疫測定法)による病理標本作製を行った場合に限り算定する。
- ③「HER2タンパク」は、化学療法歴のある手術不能又は再発乳癌患者に対して、過去に乳癌に係る本標本作製を実施した場合であって、抗HER2ヒトモノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判定するための補助に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、HER2低発現の確認により当該抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、本標本作製を再度行う場合に限り、別に1回に限り算定できる(乳癌に係る初回の本標本作成を令和6年3月31日以降に実施した場合にあつては、令和8年5月31日までの間に限る。)。なお、再度免疫染色が必要である医学的な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

＜乳癌HER2タンパク(IHC)4B5の提出方法＞

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いします。
- 2)材料は乳癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。高温での乾燥は、60℃で30分以内の処理を推奨します。長時間、高温に置くことは避けてください。
- 3)脱灰処理を行った検体については、正しい結果が得られないため、ご依頼いただけません。
- 4)固定時間は10%中性緩衝ホルマリンで6～72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。)が望ましいとされています。
- 5)組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 6)パラフィンブロックで依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

▼代替項目と中止項目の比較

	代替項目	中止項目(現)
検査項目	乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	乳癌HER2/neuタンパク(染色法)
項目コード	専依	専依
提出材料	未染標本スライド	同左
検体量	未染標本スライド 4枚	同左
容器	86 オブジェクトケース	同左
保存	室温	同左
所要日数	10～13日	同左
検査実施料	690点 (「N002」免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製「3」)	同左
判断料	130点 (病理判断料)	同左
検査方法	免疫組織化学染色法	同左
報告内容	子1 スコア: (0)、(1+)、(2+)、(3+)、判定不能 子2 判定: 陰性、陰性(低発現)、境界域、陽性、判定不能 子3 病理専門医によるレビュー: レビューした医師名を報告いたします	子1 スコア: (0)、(1+)、(2+)、(3+)、判定不能 子2 判定: 陰性、境界域、陽性、判定不能 子3 病理専門医によるレビュー: レビューした医師名を報告いたします
参考文献	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画): 147～150, 2002.	谷 洋一: Pharma Medica 18-8-87～92 2000.

※中止項目は、トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え)の乳癌患者への適応判定補助には使用できません。

▼相関一致表

		現法			
		0	1+	2+	3+
代替項目	0	2			
	1+		3		
	2+			2	
	3+				3

一致率: 100% (n=10)